



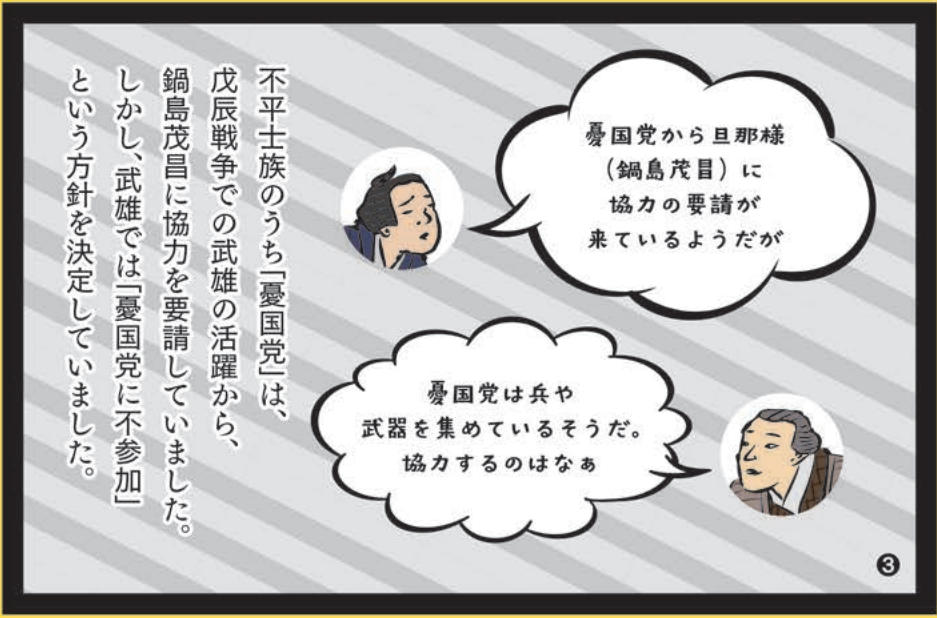
① 武雄領主・鍋島茂昌率いる武雄軍団は、戊辰戦争に出兵し、明治新政府から高い評価を得ました。



1874 (明治7)年

福岡では、農民一揆が県庁を襲ったそうぞ

佐賀では新政府に不満を持つ士族たちが集まっていると聞く



憂国党から旦那様(鍋島茂昌)に協力の要請が来ているようだが

憂国党は兵や武器を集めているそうぞ。協力するのはなあ

不平士族のうち「憂国党」は、戊辰戦争での武雄の活躍から、鍋島茂昌に協力を要請していました。しかし、武雄では「憂国党に不参加」という方針を決定していました。



④ こうした動きを受けて、大久保利通は佐賀出兵命令を出し、熊本から鎮台兵が佐賀に到着しました。

ゴオオオオオオ...



そして 1874(明治7)年 2月15日



佐賀士族たちは佐賀城を襲撃、佐賀の乱(佐賀戦争)が始まりました。

佐賀城に残る佐賀の乱でできた弾痕



我々は愛国党には参加しないと決めた

武雄にもぜひご助力願いたい

我々はもう後には引けないのだ。

正気か!?

…我々に味方しないのなら大軍で武雄を攻める!!

困ったことになった…武雄からも兵を送るしかあるまい、なるべく戦闘に参加しないようにしましょう。

武雄からはやむをえず、64名の兵を送ることになりました。



⑧ 戦況は次第に政府軍側に傾いていき、伊万里港に政府の軍艦が入港したことを口実に、武雄は兵を引き上げました。

2月25日、政府軍が佐賀城を奪い返し、戦いは終結しました。一時的とはいえ、佐賀へ兵を派遣した武雄は謝罪文を作成。明治政府に出仕し、反乱鎮圧にも活躍した武雄出身の山口尚芳の助言もあり、武雄は罪を免除されました。

地元・佐賀で起きた佐賀の乱を知っていますか？

佐賀の乱は、明治政府に対する最初の士族反乱です。1873(明治6)年、征韓論政変をきっかけに、佐賀では明治政府に不満を持つ士族たちが「征韓党」「憂国党」といった集まりを結成していました。戊辰戦争での活躍が評価されていた武雄では、旧領主鍋島茂昌の従兄弟である島義勇と手を結んだ憂国党から、茂昌に対し総大将として参加するよう要請が来ていました。明治政府は、佐賀士族たちの動きを弾圧しようとはしますが、征韓党と憂国党は県庁(佐賀城)を襲い、反乱を起こしました。佐賀士族たちは武雄に対して強硬に出兵要請をおこない、やむをえず武雄から64名の兵士を佐賀に向かわせました。

戦況は政府側に傾き、武雄は一戦もすることなく兵を引き上げました。佐賀の乱終結後、武雄が佐賀勢に加勢していた経緯について、政府に対し釈明する書類の提出が必要となりました。政府の命令で反乱鎮圧に関わった武雄出身の山口尚芳の助けを借りて、武雄は罪を許されました。

もっと知りたい方へ本で紹介!



佐賀の乱と武雄 明治維新後の様々な改革に不満を抱く士族の、武力による騒乱。その端緒となったのが明治7年の佐賀の乱でした。不平士族と新政府の衝突の中で、対処に苦慮した武雄の状況等を紹介しています。



山口尚芳を知っていますか 山口尚芳の業績について、近年の新資料の発掘と研究の成果をまとめた本です。幕末から明治にかけて政治家や政府高官として近代日本の基盤づくりに多大に貢献した生涯に迫ります。

※これらの本は武雄市図書館にて閲覧できます。